授業の進め方に戸惑いながらも、想いは伝わったよう

今年初めて授業を頼まれた大学で、予想をはるかに上回る１７０余名の学生相手だけに、授業をどう工夫し進めるか、毎回戸惑いを抱きながらもなんとか終えた。

評価のための課題レポートに、次に類するような感想（抜粋）をわざわざ追記してくれていた学生がいて、我が想いは伝わっていたことが分かり、ホッとした。

・阿部先生の講義、および著書は、親やきょうだい、家族の心までも本当に理解して励まし、力になっていらっしゃることに感銘を受けた。
講義は、メモが追いつかないくらいたくさんの貴重な意見をお聞きして大きな刺激を受けた。
教科書である先生の著書と講義内容は、私の母親にも見せるくらい感激するものであり、涙が滲んでくる程で脳裏にしっかり焼き付けておきたいと強く感じた。
いつか胸を張って、阿部先生の講義の受講者であることを誇れるように、相手の気持ちを十分に考えて行動ができる、一生懸命に働きかける、寄り添い続ける、そんな支援をしていきたい。
阿部先生、大変貴重な講義をありがとうございました。

・阿部先生の著書を読み進めていて、知識はもとより、経験のない少ない私にとって、子どもへの係わりがよく分かる事例がたくさん盛り込まれており、勉強になることが多かった。
講義の中で、「言葉のもつ深さ」や「人間性が問われる」ことの現実を知り、人間としての幅を拡げていくことが私自身の課題であると感じている。

・７回と短い講義でしたが、たくさんの新しい発見がありました。
阿部先生のお話から、先生に対して様々な方が信頼を寄せているのだなと感じました。
テキストも読みやすく、具体的な体験談や表や絵を使った説明、解りやすかったです。

・阿部先生の講義を受講して私はたくさんのことを考えさせられた。
私の夢は特別支援の教員で、ひとりの人間として支援を必要としている子どもたちの力のなりたい。
その上で先生の講義はとてもためになるものばかりで、また、これから生きていく上でもとてもためになるものばかりだった。

・阿部先生ご自身の長年に携われた体験などを毎回優しい口調で話してくださり、それを活かすために必死で伝えて下さった話を伺い胸を打たれ、たくさんの参考にさせていただきたいと思うことがありました。
今でもたくさんの方が先生を頼りにし、救われる理由が分かるような気がします。

阿部幸泰　　（2009 年 6 月 29 日　記）